

令和2年度 神戸大学2次試験前期日程(数学問題)80分  
 文・法・経済・経営・国際人間科学(グローバル文化・  
 発達コミュニティ・環境共生(文科系)・子ども教育)・  
 医(保健(理学療法・看護・作業療法))

**1**  $a, b, c, p$  は実数とし,  $f(x) = x^3 + ax^2 + bx + c$  は  $(x - p)^2$  で割り切れるとする. 以下の問に答えよ.

(1)  $b, c$  を  $a, p$  を用いて表せ.

(2)  $f(x)$  の導関数  $f'(x)$  は,  $f'\left(p + \frac{4}{3}\right) = 0$  をみたすとする.  $a$  を  $p$  を用いて表せ.

(3) (2) の条件のもとで  $p = 0$  とする. 曲線  $y = f(x)$  と  $y = f'(x)$  の交点を  $x$  座標が小さい方から順に  $A, B, C$  とし, 線分  $AB$  と曲線  $y = f'(x)$  で囲まれた部分の面積を  $S_1$ , 線分  $BC$  と曲線  $y = f'(x)$  で囲まれた部分の面積を  $S_2$  とする. このとき,  $S_1 + S_2$  の値を求めよ.

**2**  $n$  を自然数とし, 数列  $\{a_n\}, \{b_n\}$  を次の (i), (ii) で定める.

(i)  $a_1 = b_1 = 1$  とする.

(ii)  $f_n(x) = a_n(x + 1)^2 + 2b_n$  とし,  $-2 \leq x \leq 1$  における  $f_n(x)$  の最大値を  $a_{n+1}$ , 最小値を  $b_{n+1}$  とする.

以下の問に答えよ.

(1) すべての自然数  $n$  について  $a_n > 0$  かつ  $b_n > 0$  であることを示せ.

(2) 数列  $\{b_n\}$  の一般項を求めよ.

(3)  $c_n = \frac{a_n}{2^n}$  とおく. 数列  $\{c_n\}$  の一般項を求めよ.

**3** 以下の問に答えよ.

(1) 和が 30 になる 2 つの自然数からなる順列の総数を求めよ.

(2) 和が 30 になる 3 つの自然数からなる順列の総数を求めよ.

(3) 和が 30 になる 3 つの自然数からなる組合せの総数を求めよ.

## 解答例

1 (1)  $f(x) = x^3 + ax^2 + bx + c$  は  $x - p$  で割り切れるから、 $f(p) = 0$  より

$$p^3 + ap^2 + bp + c = 0 \quad \text{ゆえに} \quad c = -p^3 - ap^2 - bp \quad \dots \textcircled{1}$$

$$\begin{aligned} \text{したがって} \quad f(x) &= x^3 + ax^2 + bx - p^3 - ap^2 - bp \\ &= x^3 - p^3 + a(x^2 - p^2) + b(x - p) \\ &= (x - p)\{x^2 + px + p^2 + a(x + p) + b\} \end{aligned}$$

$g(x) = x^2 + px + p^2 + a(x + p) + b$  とおくと、 $g(x)$  は  $x - p$  で割り切れるから、 $g(p) = 0$  より

$$3p^2 + 2ap + b = 0 \quad \text{ゆえに} \quad b = -3p^2 - 2ap$$

上の第2式を①に代入すると

$$c = -p^3 - ap^2 - (-3p^2 - 2ap)p = 2p^3 + ap^2$$

(2) (1)の結果から  $f(x) = x^3 + ax^2 + (-3p^2 - 2ap)x + 2p^3 + ap^2$

$$f'(x) = 3x^2 + 2ax - 3p^2 - 2ap$$

$$f'\left(p + \frac{4}{3}\right) = 0 \quad \text{より} \quad 3\left(p + \frac{4}{3}\right)^2 + 2a\left(p + \frac{4}{3}\right) - 3p^2 - 2ap = 0$$

$$\text{整理すると} \quad 3p + 2 + a = 0 \quad \text{よって} \quad a = -3p - 2$$

(3)  $p = 0$  のとき、(2)の結果から  $a = -2$ ,  $b = 0$ ,  $c = 0$

$$f(x) = x^3 - 2x^2, \quad f'(x) = 3x^2 - 4x$$

2曲線  $y = f(x)$ ,  $y = f'(x)$  の交点の  $x$  座標は

$$x^3 - 2x^2 = 3x^2 - 4x$$

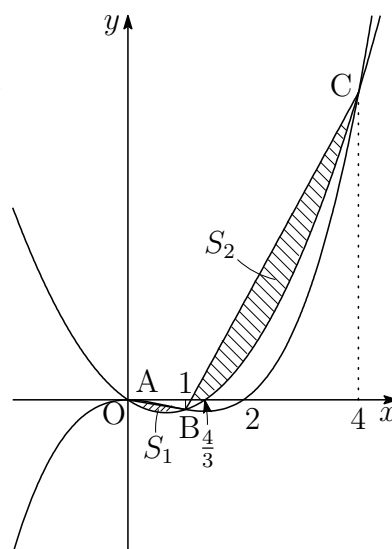
$$\text{ゆえに} \quad x(x - 1)(x - 4) = 0$$

$$\text{これを解いて} \quad x = 0, 1, 4$$

$$A(0, 0), B(1, -1), C(4, 32)$$

$$\text{直線 AB は} \quad y = -x$$

$$\text{直線 BC は} \quad y = 11x - 12$$



したがって

$$\begin{aligned} S_1 &= \int_0^1 \{-x - (3x^2 - 4x)\} dx \\ &= -3 \int_0^1 x(x-1) dx = \frac{3}{6}(1-0)^3 = \frac{1}{2}, \\ S_2 &= \int_1^4 \{11x - 12 - (3x^2 - 4x)\} dx \\ &= -3 \int_1^4 (x-1)(x-4) dx = \frac{3}{6}(4-1)^3 = \frac{27}{2} \end{aligned}$$

よって  $S_1 + S_2 = \frac{1}{2} + \frac{27}{2} = 14$

**2** (1) すべての自然数について

$$a_n > 0 \text{ かつ } b_n > 0 \dots (*)$$

であることを数学的帰納法により示す.

[1]  $n = 1$  のとき,  $a_1 = 1 > 0$ ,  $b_1 = 1 > 0$  より,  $(*)$  は成立する.

[2]  $n = k$  のとき,  $(*)$  が成立すると仮定すると

$$a_{k+1} = f_n(1) = 4a_k + 2b_k > 0, \quad b_{k+1} = f_n(-1) = 2b_k > 0$$

したがって,  $n = k + 1$  のときも  $(*)$  は成立する.

[1], [2] より, すべての自然数  $n$  について,  $(*)$  は成立する.

(2) (1) の結果から  $a_{n+1} = 4a_n + 2b_n$ ,  $b_{n+1} = 2b_n$

$$b_1 = 1 \text{ および上の第2式から } b_n = 1 \cdot 2^{n-1} = 2^{n-1}$$

(3) (2) の結果から  $a_{n+1} = 4a_n + 2^n$  ゆえに  $\frac{a_{n+1}}{2^{n+1}} = 2 \cdot \frac{a_n}{2^n} + \frac{1}{2}$

$$\text{したがって } c_1 = \frac{a_1}{2^1} = \frac{1}{2}, \quad c_{n+1} = 2c_n + \frac{1}{2}$$

$$c_{n+1} + \frac{1}{2} = 2 \left( c_n + \frac{1}{2} \right) \quad \text{ゆえに} \quad c_n + \frac{1}{2} = \left( c_1 + \frac{1}{2} \right) \cdot 2^{n-1}$$

$$\text{よって } c_n = 2^{n-1} - \frac{1}{2}$$

- 3** (1) 30個の○を一行に並べ、その間の29か所から1か所に仕切りを作る場合の総数に等しいから

$${}_{29}C_1 = \mathbf{29} \text{ (個)}$$

- (2) 30個の○を一行に並べ、その間の29か所から2か所に仕切りを作る場合の総数に等しいから

$${}_{29}C_2 = \frac{29 \cdot 28}{2 \cdot 1} = \mathbf{406} \text{ (個)}$$

- (3) 和30になる3つの自然数の組合せについて

(i) 3数が等しいものが  $\{10, 10, 10\}$  の1組

(ii) 2数だけが等しいものが、次の13組

$$\{1, 1, 28\}, \{2, 2, 26\}, \dots, \{9, 9, 12\}, \{11, 11, 8\}, \dots, \{14, 14, 2\}$$

(iii) 3数がすべて異なるものが、 $n$ 組とすると、(i), (ii) および (2) から

$$1 + 13 \cdot 3 + n \cdot 3! = 406 \quad \text{これを解いて} \quad n = 61 \text{ (組)}$$

よって、求める組合せの総数は、(i)~(iii) から

$$1 + 13 + 61 = \mathbf{75} \text{ (組)}$$